

徒然草『高名の木登り』 定期テスト対策問題 | 現代語訳・敬語・教訓の頻出設問と解答

組 番 氏名

／100点

本文

高名の木登りといひしをのこ、人を掙てて、高き木に登せて梢を切らせしに、いと危ふく見えしほどは言ふ事もなくて、降るときに、軒長ばかりになりて、「あやまち〔①〕すな。心して降りよ」と言葉をかけ侍り〔②〕しを、「かばかりになりては、飛び降るともおりなん〔③〕。いかにかく言ふぞ〔④〕」と申し侍りしかば、「その事に候ふ。目くるめき、枝危ふきほどは、おのれが恐れ侍れば申さず。あやまちは、やすき所になりて、必ず仕る〔⑤〕ことに候ふ〔⑥〕」と言ふ。

あやしき下臈なれども、聖人の戒めにかなへり。鞠も、難き所を蹴出して後、やすく思へば、必ず落つ〔⑦〕と侍るやらん。

設問

1. 本文冒頭の「高名の木登りといひしをのこ、人を掙てて、高き木に登せて梢を切らせし」を現代語訳しなさい。
2. 「切らせし」の「せ」は、ある助動詞の一部である。この助動詞の意味（はたらき）を答え、なぜここでその意味になるのかを簡単に説明しなさい。あわせて、「登せて」の「せ」はこの助動詞かどうかを答えなさい。
3. 「いと危ふく見えしほどは言ふ事もなくて、降るときに、軒長ばかりになりて」を現代語訳しなさい。
4. 傍線部①「あやまち」とは、ここではどういう意味か。漢字を用いて答えなさい。
5. 傍線部②「かけ侍り」の「侍り」は敬語である。種類（尊敬・謙譲・丁寧のいずれか）を答え、誰の誰に対する敬意かを説明しなさい。
6. 傍線部③「おりなん」を、助動詞「な」「ん（む）」の意味がわかるように現代語訳しなさい。
7. 傍線部④「いかにかく言ふぞ」を現代語訳しなさい。また、この言葉は誰が誰に向かって言ったものか答えなさい。
8. 傍線部④「いかにかく言ふぞ」には係り結びが用いられている。係りの助詞を抜き出し、それによって文末（結び）がどうなっているか、また係り結びがどのような効果（はたらき）をもつかを説明しなさい。
9. 「申し侍りし」には二種類の敬語が用いられている。「申し」と「侍り」のそれぞれについて、敬語の種類（謙譲・丁寧など）を答えなさい。
10. 「その事に候ふ。目くるめき、枝危ふきほどは、おのれが恐れ侍れば申さず」を現代語訳しなさい。
11. 「おのれが恐れ侍れば」の「侍れ」は敬語である。敬語の種類を答え、現代語ではどのような言い方にあたるか説明しなさい。

12. 傍線部⑤「あやまちは、やすき所になりて、必ず仕ることに候ふ」を現代語訳しなさい。あわせて「やすき所」とはどのような場所か説明しなさい。
13. 傍線部⑥「候ふ」、傍線部⑦をふくむ文末「必ず落つと侍るやらん」をふまえ、この話を通して作者（兼好法師）が伝えようとした教訓を、現代語で簡潔に述べなさい。
14. 傍線部⑥「候ふ」の文法的説明として、敬語の種類（尊敬・謙譲・丁寧）を答え、誰の誰に対する敬意かを説明しなさい。
15. 「あやしき下臈なれども」の「あやしき」「下臈」の意味をそれぞれ答えなさい。
16. 「聖人の戒めになへり」とはどういうことか。「聖人」「かなへり」の意味をふまえて説明しなさい。
17. 木登りの名人は、なぜ高い危険な所ではなく「やすき所（低くて簡単な所）」で注意を促したのか。その理由を本文に即して説明しなさい。
18. 本文中の「いひ／切らせ／見え／かけ侍り」などに付く「し」「しか」は、同じ助動詞の活用形である。この助動詞の終止形（基本形）と意味を答えなさい。
19. 末尾の「必ず落つと侍るやらん」の「やらん（やらむ）」について、もとの形を示し、文末が連体形（「やらん」）になっている理由を説明しなさい。
20. 作者は木登りの話のあとに「鞠（蹴鞠）」の例を挙げている。この鞠の例は、何を示すために述べられたのか説明しなさい。
21. この章段全体を通して述べられている主題（言いたいこと）を、十五字以内のことわざ風の一文でまとめなさい。
22. 【文学史】この作品『徒然草』の作者名（法名）と、作品のジャンル（種類）を答えなさい。また、同じジャンルに分類される平安時代の代表的な作品を一つ挙げなさい。